



氏名 岡原 聡

年齢 39

所属 大阪急性期・総合医療センター

立候補の趣旨

2021年4月より日本産業理学療法研究会が設立され、学術推進に舵を切りました。これまでの役員・委員会活動を根幹として、公的保険外の理学療法を発展させ、働く人の健康支援に理学療法士が寄与している未来を見据えた事業提案および運営に貢献させていただきたく、立候補をいたします。

立候補にあたり下記の活動を通して、社会に寄与できる研究会となるように尽力します。

- 1 研究推進
実践活動ならびに好事例の発掘による産業保健分野の研究推進、学術事業の充実。
- 2 学術専門誌の発刊
勤労者の健康増進や生産性向上に資する産業理学療法エビデンスの蓄積。
- 3 組織の充実化
評価介入の標準化検討、IFPTOHEの事業協力、卒後教育の生涯学習制度構築など各種委員会の整備。都道府県士会や関連団体との協働体制の拡大。

皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

役員歴

<研究会活動>

- 2021年～ 日本産業理学療法研究会 理事長
2021年 第4回日本産業理学療法研究会学術大会 大会長
2019年～ 産業理学療法部門 代表運営幹事
2013年～ 産業理学療法部門 運営幹事

<委員等>

- 2020年～ 日本理学療法士協会 一般就労支援検討作業部会 作業部会長
2019年～ 日本理学療法士協会 産業領域業務推進部会 部員



氏名	加藤芳司
年齢	58
所属	名古屋平成看護医療専門学校 理学療法学科

立候補の趣旨

社会人を経て30代で理学療法士となり、地域、予防、健康増進、養成校教育、加えて学位取得等、様々な経験を通して歩んで参りました。ここまでたどり着けたのも多くの方の援助なしにはありえず、キャリア後半に差し掛かり、社会貢献、人のために働くことを持って恩返しとしたいと考え始めております。

現在、日本産業理学療法研究会の副理事長と愛知県理学療法士学会の理事を務め、都道府県（愛知）と連合分科学会の学術的連携を深める役割を担っております。この度の連合分科学会の独立に伴い、さらに情報共有と連携が連合学会、研究会と都道府県間で重要となってきております。

研究会発足からまだ日が浅く、安定運用までには課題が多くあります。引き続き理事として産業保健領域におけるエビデンスの構築と職域拡大の為に尽力したいと思います。よろしく申し上げます。

役員歴

2012年4月：愛知県理学療法学会 専門領域研究部 部員（2021年3月迄）
2014年4月：愛知県理学療法士協会 名古屋東ブロック委員（2021年3月迄）
2014年4月：日本理学療法士協会 産業理学療法部門 運営幹事
2021年6月：NPO法人愛知県理学療法学会 理事（現在に至る）
2021年6月：日本産業理学療法研究会 副理事（現在に至る）



氏名 川又華代

年齢 42

所属 中央労働災害防止協会

立候補の趣旨

2021年度より法人化を目指し研究会として歩みだした「日本産業理学療法研究会」を次の方々にバトンを渡せるよう、もう一期理事を務めさせていただければと思います。

役員歴

2016年～日本理学療法士協会産業理学療法部門運営幹事
2021年～日本産業理学療法研究会理事



氏名	佐藤友則
年齢	45
所属	東北労災病院治療就労両立支援センター 予防医療部

立候補の趣旨

私は、産業理学療法部門の運営幹事、日本産業理学療法研究会の理事として、主に産業理学療法の学術、標準化に携わってきました。また、日本理学療法士協会における活動として、高年齢労働者の就労支援に関する検討を進めて参りました。これまでの活動を通して培った経験を生かして、産業理学療法の発展および産業保健分野でより活躍できるような基盤づくりに取り組んでまいります。何卒よろしく願いいたします。

役員歴

【日本理学療法学会連合】
2021年～現在 日本産業理学療法研究会 理事
2014年～2021年 産業理学療法部門 運営幹事
2021年～現在 理学療法標準化検討委員会 ガイドライン部会 部員
2017年～2021年 ガイドライン・用語策定委員会 作成班 班員
【日本理学療法士協会】
2019年～現在 産業領域業務推進部会（前委員会）部員（前委員）
2020年～2021年 高齢者就労ニーズ・シーズマッチング検討会 構成員



氏名	明日徹
年齢	58
所属	岡山医療専門職大学 健康科学部理学療法学科

立候補の趣旨

私は、当研究会が部門として設立当時より運営幹事として組織運営に尽力してまいりました。2021年4月から一般社団法人日本理学療法学会連合の組織下にて日本産業理学療法研究会として組織改編してからは副理事長の任を拝命しております。産業保健領域における理学療法士の活躍の場は、今後ますます期待が大きいと思われまします。本来は会員に対して職能活動を啓発しながら学術活動を両立させていくことが重要と思っておりましたが、協会から分離して学術活動を推進していくこととなりました。今後、我々が産業保健領域で認知されるためには、本研究会での学術活動を通じて、会員諸氏の意見を吸い上げながら活動の輪を広げていくことが重要と思っております。個人的にはリタイアを考える年齢となっており、昨今の運営状況について行けない感は否めませんが、若い会員へのつなぎを円滑に行うために、尽力させて頂ければと思ひ、立候補致しました。どうぞご支援の程お願い申し上げます。

役員歴

2014年	(公社)	日本理学療法士協会産業理学療法部門運営幹事	
2021年	(一社)	日本理学療法学会連合日本産業理学療法研究会	副理事長



氏名 坂本親宣

年齢 58

所属 鹿児島医療福祉専門学校

立候補の趣旨

神戸労災病院で19年間にわたり、労働関連疾患・外傷の患者さまの理学療法に携わってまいりました。そのなかで、これらの疾患・外傷の再発率が非常に高いことに気付かされ、発症をいかに予防していくか、加えて再発をいかに防いでいくかについて、多くの文献を読み、自己研鑽を重ねてまいりました。また、その後に教育現場に移ってからの16年間は整形外科疾患の理学療法を学生に教授するなかで労働関連疾患・外傷について詳細に講義を行ってまいりました。労働関連疾患・外傷の中で特に、わたしの生涯の研究テーマとなっているものが職業性腰痛であり、これまでに看護師、介護士、保育士や一般市民に対して腰痛のメカニズムからの腰痛予防の講演を数えきれないぐらい行ってまいりました。さらに研究分野としてはWCPTや日本理学療法学会大会での学会発表、理学療法学や理学療法ジャーナル、日本腰痛学会誌、日本職業災害医学会誌への論文執筆に力を注いでまいりました。職業性腰痛はわが国の労災関連疾患で第一位を占めており、大きな社会問題となっております。厚生労働省もこの現状を重く受け止めており、理学療法士による腰痛予防指導に期待しています。そこでこのたび、これまでのわたしの臨床経験、研究業績を下に、日本産業理学療法研究会の理事選挙に立候補させていただきました。微力ながら、研究会の発展に寄与させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

役員歴

第10回兵庫県理学療法士学会会長 平成8年4月から平成9年7月まで、平成24年4月から平成27年3月まで
日本理学療法士協会代議員 平成12年4月から平成14年6月まで
兵庫県理学療法士会理事、社会局長 平成12年4月から平成16年3月まで
第43回近畿理学療法学会大会準備委員会財務局長 平成14年6月から平成15年12月まで
第43回日本理学療法学会大会準備委員会事務局渉外部長 平成18年3月から平成20年5月まで
福岡県理学療法士会理事 平成19年4月から平成27年3月まで



氏名 川村有希子

年齢 37

所属 株式会社FiNC Technologies

立候補の趣旨

【職歴・活動歴】国立総合大学病院に勤務後、2015年より（公社）日本理学療法士協会にて、産業理学療法分野の推進・人材育成、およびそれらを活用した事業の企画運営等を担当。その過程で企業での理学療法士の認知度の低さと、理学療法士の企業に対する知識の少なさを痛感し、当分野の普及発展のためにはまずこれらを解決する必要性を感じました。このようなきっかけで、現在はヘルスケア関連企業にてアプリの企画開発や法人の健康経営支援を行っています。また独立行政法人労働者健康安全機構神奈川産業保健総合支援センターにて、運動専門の相談員としても活動しています。

【今期に企画担当した事業】

- ・ホームページへの会員向けの意見収集調査
- ・産業理学療法国際比較調査事業（および協力員組織構築）
- ・産業理学療法普及啓発セミナー ～産業理学療法のきっかけを考える～

【活動ビジョン】研究会へと転換し初の役員選挙となりますが、来期は前身の産業理学療法部門設立後10年を迎え、設立当初の目的・課題・達成状況等を、今一度振り返るタイミングにきています。そのような中で自身が当研究会の課題として感じてきたのは、「具体的普及戦略プランの不足」「エビデンスの集積不足」「産業保健現場の活動実績が少ない中で理想論化傾向」の3点です。これらの解決に向けて、「団体としての役割と戦略の明確化」「産業理学療法の学術的基盤構築」「意欲と行動の伴う会員が活躍できる体制」に向けた地盤づくりを目指し、活動して参りました。私自身は学術実績も少なく本来は理事を担う立場には不十分と感じておりますが、今後、ぜひ自ら切り開いていく意欲と行動の両翼を持たれている多くの会員の皆様に参画いただけたらと考えております。それらの橋渡しを使命として、来期も理事として活動させていただけたらありがたく存じます。

役員歴

2020年～産業理学療法部門 運営幹事
2021年～日本産業理学療法研究会 理事



氏名 木村圭佑

年齢 40

所属 医療法人松徳会花の丘病院

立候補の趣旨

私は本研究会の評議員として、また日本理学療法士協会の産業領域業務推進委員会の部会員として活動する中で、当該領域における理学療法士の重要性がさらに高まっていることを実感しております。

一方で卒前・卒後の教育場面や臨床場面に目を向けますと、産業理学療法について体系的に学ぶ機会や、実務として活動する機会は決して多いとは言えません。

我々はエンドユーザーである労働者はもちろん、保健者や企業側の要望にも応えられる実行力、他の産業保健領域に関わる専門職との連携・協働の実践が求められます。さらに昨今では療養・両立支援支援の対象疾患や企業側の連携先が拡大し、より多様な疾患や障がいへの対応とファシリテーション能力が求められています。

そのような背景から、従来の産業理学療法活動に加えて、新たな視点や価値を取り込み発展させていく必要があると感じております。

私は純粋な産業理学療法士としての経験は、諸先生方と比較すると見劣りしますが、様々な活動経験や他の領域との連携・協働の実践経験をもとに、本研究会に新たな視点や価値を持ち込むことができると自負しております。

我々も含め、産業保健領域に関わる理学療法士の未来が少しでも明るくなるように、また活動できる幅が少しでも広げられるよう、本研究の発展に尽力する所存です。

役員歴

2015年度～現在 一般社団法人三重県理学療法士会 理事

2017年度～2018年度 公益社団法人日本理学療法士協会 回復期ワーキンググループ 委員

2019年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 産業領域業務推進委員会 部会員

2021年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 産業理学療法研究会 評議員



氏名 久原聡志

年齢 40

所属 産業医科大学病院

立候補の趣旨

私は2017年度より福岡県理学療法士会の社会局機能部理事を拝命し、産業保健領域で活躍できる人材の育成や産業理学療法関連の研修会の開催等に尽力してきました。また、2020年度より日本理学療法士協会の産業理学療法部門の部員として関わらせていただき、私の専門領域である両立支援の情報共有等を行ってきました。産業理学療法は特別なものではなく、会員の皆様が通常臨床で行っていることが活用できる分野です。理学療法士が社会に認められる職種として成長し、我々の職種も含め働く人が安心して生活し続けられるように頑張っていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

役員歴

2017年～2021年 福岡県理学療法士会 社会局機能部 理事
2020年 日本理学療法士協会 産業理学療法部門 部員
2021年 産業理学療法研究会 評議員